

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公開番号】特開2010-28783(P2010-28783A)
 【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)
 【年通号数】公開・登録公報2010-005
 【出願番号】特願2008-314438(P2008-314438)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)
 G 1 0 L 19/00 (2006.01)
 H 0 4 R 9/04 (2006.01)
 H 0 4 R 15/00 (2006.01)
 H 0 4 R 19/02 (2006.01)
 H 0 4 R 1/40 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 R 3/00 3 1 0
 G 1 0 L 19/00 2 2 0 C
 H 0 4 R 9/04 1 0 2
 H 0 4 R 15/00
 H 0 4 R 19/02
 H 0 4 R 1/40 3 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の入力端子を有するデジタルスピーカと、
 デジタル入力信号及び電源に接続され前記デジタルスピーカを駆動するデジタルスピーカ駆動装置とから構成され、
 前記デジタルスピーカ駆動装置は、前記デジタルスピーカのコイル群の近傍に配置されていることを特徴とするデジタルスピーカ装置。

【請求項2】

前記デジタルスピーカ駆動装置は、前記デジタルスピーカのコイル群の直後に配置されていることを特徴とする請求項1に記載のデジタルスピーカ装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載のデジタルスピーカ装置において、
前記デジタルスピーカは、s個のデジタル信号入力端子を有し、
前記デジタルスピーカ駆動装置は、
 デジタル入力信号を変調しnビットのデジタル信号を出力する変調器と、
 前記変調器に接続され、nビットのデジタル信号をミスマッチシェーピングしたmビットのデジタル信号を出力する後置フィルタートと、
 それぞれ前記mビットのデジタル信号の一部が入力されデジタル信号を出力するs個の駆動回路と、
 前記変調器、前記後置フィルタート及び前記s個の駆動素子に電源を供給する電源回

路と、

から構成され、前記 s 個の駆動回路は前記 s 個のデジタル信号端子に対応していることを特徴とするデジタルスピーカ装置。

【請求項 4】

請求項 3 記載のデジタルスピーカ装置において、前記電源回路は、前記 s 個の駆動素子に可変電圧を供給することにより、前記 s 個の駆動回路のデジタル信号の出力の振幅を調整することを特徴とするデジタルスピーカ装置。

【請求項 5】

請求項 3 記載のデジタルスピーカ装置において、さらに、前記デジタル入力信号に所定の演算処理を施して前記変調器に入力させることにより、前記デジタルスピーカの音量を調整するデジタル減衰器を有することを特徴とするデジタルスピーカ装置。

【請求項 6】

請求項 3 記載のデジタルスピーカ装置において、前記変調器、前記後置フィルター及び前記 s 個の駆動回路は単一の半導体上に形成されるか、もしくは、単一のパッケージに同封されることを特徴とするデジタルスピーカ装置。